

○ 現在と2025年度（将来推計）の比較

項目	現在	2025年度
ア) 要介護者数・要支援者数	268人 (2017年度)	261人
イ) 65歳以上人口	1,450人 (2018年度)	1345人
ウ) 認知症高齢者数	231人 (2018年度)	248人
エ) 一人暮らし高齢者数	528世帯 (2018年度)	521世帯
オ) 現在の介護人材と将来必要となる介護人材	83人 (2018年度)	76人

※ア)、イ) は、厚生労働省提供の地域包括ケア「見える化」システムを活用し、推計した。

※ウ) は、「日本における認知症の高齢者人口の将来設計に関する研究 表3：認知症患者数と有病率の将来推計(各年齢層の認知症有病率が2012年以降一定と仮定した場合)」を参照し、2015年の65歳以上人口における認知症有病者数の推定を参考に、2015年～2020年間の平均推定患者数を65歳以上の人口の15.95%、2025年の認知症推定患者数を65歳以上人口の18.5%と推定し、2018年8月末と2025年度の認知症患者数の将来設計を行った。

※エ) は、国立社会保障・人口問題研究所で公表している『日本の地域別将来推計人口』を参照し、2018年度は65歳以上人口の36.48%、2025年は38.78%が一人暮らし高齢者数と推定し、将来設計を行った。

※オ) は厚生労働省『第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について 別紙5 第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数(都道府県別)』を参照し、北海道全体の65歳以上の人口に占める介護職員数の割合を、2018年は5.72%、2025年は5.62%として、必要な介護人材数の将来設計を行った。